

社会学研究室文献リスト〔2013 年度〕

- ・青野友哉, 2012, 「続縄文文化とは① 続縄文文化の概要と恵山文化の暮らし」『Arctic Circle』83:4-9.
- ・新崎盛暉／謝花直美／松本剛／前泊博盛／亀山統一／仲宗根將二／太田静男, 1983=2011, 『観光コースでない沖縄【第四版】』高文研.
- ・新崎盛暉／仲地哲夫／村上有慶／目崎茂和／梅田正巳, 2005, 『沖縄修学旅行【第3版】』高文研.
- ・飯島伸子／渡辺伸一／藤川賢, 2007, 『公害被害放置の社会学 イタイイタイ病・カドミウム問題の歴史と現在』東信堂.
- ・五百旗頭真／宮城大蔵編, 2013, 『橋本龍太郎外交回顧録』岩波書店.
- ・イグレスィアス, M, 2012, 「オリンピックは経済を救わない」『ニューズウィーク日本版』27(30):8-9.
- ・石川真生／国吉和夫／長元朝浩, 1996, 『これが沖縄の米軍だ 基地の島に生きる人々』高文研.
- ・石山徳子, 2013, 「アメリカ原子力開発と犠牲区域の空間構築 ナバホ・ネーションにおけるウラン開発を事例に」『年報社会学論集』26:5-16.
- ・井上英夫, 2002, 『北見ブックレット7 北見の薄荷入門』NPO 法人オホーツク文化協会.
- ・ヴァンソン藤井由実, 2011, 『トラムとにぎわいの地方都市 ストラスブールのまちづくり』学芸出版社.
- ・植松健一, 2013, 「『橋本主義の論理と構造』を読む 現代ポピュリズム批判」『季刊自治と分権』50:88-101.
- ・鵜飼洋一郎, 2007, 「企業が煽る『やりたいこと』 就職活動における自己分析の検討から」『年報人間科学』28:79-98.
- ・NHK 世論調査部編, 1991, 『現代日本人の意識構造【第三版】』NHK ブックス.
- ・大久保洋子, 2013, 『江戸の食・現代の食』NHK 出版.
- ・小川和孝, 2013, 「過去の離職経験が自発的・非自発的離職へ与える影響と経済不況後のその変化」『年報社会学論集』26:39-50.
- ・奥井隆, 2012, 『昆布と日本人』日経プレミアシリーズ.
- ・小熊英二, 2009, 『1968【下】 叛乱の終焉とその遺産』新曜社.
- ・御旅家達, 2012, 「子ども・若者をめぐる社会問題としての『居場所のなさ』 新聞記事における『居場所』言説の分析から」『年報社会学論集』25:13-24.
- ・小樽市総合博物館編, 2010, 「重要文化財 旧手宮鉄道施設」.
- ・小樽市総合博物館監修, 2013, 『鉄道と歩んだ街小樽 ここから始まった北海道の鉄道史』ウィルダネス.
- ・小野田正利, 2013, 「待てない、待たせることが悪の時代と学校・保護者間トラブル 教育活動の特殊性に起因する苦しさ」『生活協同組合研究』449:5-11.

- ・小野寺雅彦, 2013, 「『ノる』とはどういうことか 現代若者の『親密圏における連帯』」『年報社会学論集』 26:51-62.
- ・金澤良太, 2013, 「都市間競争とイデオロギーとしての創造都市 グローカル化と企業家的都市の台頭」『年報社会学論集』 26:75-86.
- ・金子全一, 1992, 「菅野豊治を語る」スガノ農機株式会社.
- ・上川龍之進, 2013, 「民主党政権の失敗と一党優位政党制の弊害」『レヴェイアサン』 53:9-34.
- ・清原悠, 2013, 「住民運動の地政学的分析」『社会学評論』 64(2):205-223.
- ・金聖甫／奇光舒／李新澈 (李泳采監訳／韓興鉄訳), 2010, 『写真と絵で見る北朝鮮現代史』コモンズ.
- ・久木元真吾, 2003, 「『やりたいこと』という論理 フリーターの語りとその意図せざる帰結」『ソシオロジ』 48(2):73-89.
- ・小山治, 2012, 「学生による企業の採用基準の認識過程 社会科学分野に着目して」『年報社会学論集』 25:73-83.
- ・笹本駿二／加藤雅彦編, 1973, 『ドキュメント 10 東欧の動乱』平凡社.
- ・佐藤邦子／片桐美代子／石川孝織／西城戸誠, 2012, 「ヤマを支えた女たち 太平洋炭鉱主婦会」, 石川孝織編, 『平成 23 年度炭鉱文化交流推進事業 ヤマの話を聞く会記録集 2』釧路市立博物館, pp.38-58.
- ・佐藤俊樹, 2000, 『不平等社会日本 さよなら総中流』中公新書.
- ・サッポロホールディングス, 2013, 『サッポログループ CSR レポート 2013』.
- ・ジェファソン, T. (中屋健一訳), 1972, 『ヴァージニア覚え書』岩波文庫.
- ・自治と分権編集部編, 2012, 「特集：戦争を記憶し、平和な未来を考えよう」『季刊自治と分権』 48:46-93.
- ・Synapse 編集部編, 2012, 「特集：教職実践演習の実施せまる」『Synapse』 17:5-28.
- ・嶋崎尚子／須藤直子, 2013, 「『最後のヤマ』 閉山離職者の再就職過程」『地域社会学会年報』 25:109-125.
- ・白老町教育委員会, 「21 世紀版 白老町の文化財ガイドブック」.
- ・生活協同組合研究編集部編, 2013, 「特集：水一国際水協力年を記念して」『生活協同組合研究』 445:4-45.
- ・関口鉄夫, 1996, 『ゴミは田舎へ？ 産業廃棄物への異論・反論・Rejection (拒否)』川辺書林.
- ・仙台藩白老元陣屋資料館編, ****, 「仙台藩白老元陣屋跡」.
- ・祖田修, 2013, 『近代農業思想史 21 世紀の農業のために』岩波書店.
- ・高岡滋, 2006, 「水俣病健康被害の現状と今後の課題」『民医連医療』 411:6-11.
- ・高見具広, 2012, 「仕事の裁量性が出産退職を抑制する効果」『年報社会学論集』 25:108-119.
- ・伊達市教育委員会, 2001, 『北黄金貝塚の縄文人たち』.
- ・伊達市噴火湾文化研究所, 2012-2013, 『噴火湾文化』 vol.6-7.
- ・だて噴火湾縄文まつり実行委員会, 2000, 『縄文まつりブックレット 1 テーマ「住む」』.

- ・ 太郎丸博, 2009, 『若年非正規雇用の社会学 階層・ジェンダー・グローバル化』大阪大学出版会.
- ・ 中尊寺編, 2010=2012, 『世界遺産中尊寺【改訂版】』.
- ・ 辻大介, 2004, 「若者の親子・友人関係とアイデンティティ 16~17 歳を対象としたアンケート調査の結果から」『関西大学社会学部紀要』35(2):147-159.
- ・ 辻大介, 2006, 「つながりの不安と携帯メール」『関西大学社会学部紀要』37(2):43-52.
- ・ 寺本界雄, 1950=1972, 『樺戸監獄史話』月形町.
- ・ 寺本界雄, 1978, 『樺戸集治監獄話』月形町.
- ・ デロシェール, P/清水裕子, 2012, 「地産地消は地球に優しくない」『ニューズウィーク日本版』27(30):48-50.
- ・ 戸坂潤, 1974, 『認識論』青木文庫.
- ・ 鳶島修治, 2012, 「高校生の学習時間に対する早期学校外教育投資の影響」『年報社会学論集』25:144-155.
- ・ 中澤秀雄/西城戸誠/新國三千代/大國充彦/森田誠/新藤慶, 2004, 「北海道社会調査データベース作成の理念と方針 SORD 新プロジェクトへの方針転換と 2 年間の活動報告」『社会情報』13(2):191-218.
- ・ 中西真知子, 2013, 「再帰性の変化と新たな展開 ラッシュの再帰性論を基軸に」『社会学評論』64(2):224-238.
- ・ 永山利和, 2013, 「低賃金化による地域経済の衰退と公共調達政策の役割」『季刊自治と分権』53:38-49.
- ・ 名寄 SL 排雪列車(キマロキ)保存会, 2005, 『キマロキ 冬の鉄路を守った男たちの物語』.
- ・ 名寄市北国博物館, 1998, 『北国ブックレット 北の暖房具』.
- ・ 名寄市北国博物館, 1999, 『北国ブックレット 厳冬のきらめき 細氷現象と雪氷の造形美』.
- ・ 名寄市北国博物館, 2004, 『名寄はじめて物語』.
- ・ ナンズ, C., 2012, 「台湾政治はヤクザで回る」『ニューズウィーク日本版』27(27):40-42.
- ・ 西川潤編, 1973, 『ドキュメント現代史 12 アフリカの独立』平凡社.
- ・ 西城戸誠/船戸修一編, 2012, 『ブックガイドシリーズ基本の 30 冊 環境と社会』人文書院.
- ・ 日本社会学会編, 2013, 「公募特集:ポピュラーカルチャーの社会学」『社会学評論』63(4):478-551.
- ・ ニューズウィーク日本版編集部編, 2012a, 「ポスト金正日の世界」『ニューズウィーク日本版』27(1):17-32.
- ・ ニューズウィーク日本版編集部編, 2012b, 「イラン危機 戦争は回避できるか」『ニューズウィーク日本版』27(8):25-34.
- ・ ニューズウィーク日本版編集部編, 2012c, 「中国経済 成長の終焉」『ニューズウィーク日本版』27(27):25-37.
- ・ ニューズウィーク日本版編集部編, 2012d, 「シリア 地獄の内戦 死者数が 2 万人に迫る出口なき流血の行方」『ニューズウィーク日本版』27(30):25-37.
- ・ 野呂栄太郎, 1930=1954, 『日本資本主義発達史』岩波文庫.

- ・ 伯野卓彦, 2009, 『自治体クライシス 赤字第三セクターとの闘い』 講談社.
- ・ 橋本左内, 1982, 『啓発録』 講談社学術文庫.
- ・ 浜田和幸, 1999, 『ヘッジファンド 世紀末の妖怪』 文春文庫.
- ・ 早坂義征, 2005, 『北の湘南誕生』 伊達郷土史研究会.
- ・ 林真人, 2006, 「若年野宿者の形成と現存」『社会学評論』 57(3):493-510.
- ・ フェルネクス, M./フェルネクス, S./バーテル, R., 2012, 『終わりのない惨劇 チェルノブイリの経験から』 緑風出版.
- ・ ブランキ, L.A. (加藤晴康訳), 1968-1969=1991, 『革命論集【改訂増補版】』 彩流社.
- ・ 北海道漁連/北海道昆布普及協議会, 2012, 「昆布漁業に生きる 北海道発浜の男たちの情熱」.
- ・ 北海道鉄道文化保存会, 2010, 『北海道開発の夢を運んだ鉄道遺産 小樽市総合博物館保存展示車両解説書』.
- ・ 北海道立北方民族資料館編, 1993, 『北海道立北方民族資料館総合案内』.
- ・ 堀内光一, 1998, 『消されたアイヌ地』 三一書房.
- ・ 本田由紀, 2011, 『シリーズ若者の気分 学校の「空気」』 岩波書店.
- ・ 丸山静雄編, 1972, 『ドキュメント現代史 14 ベトナム戦争』 平凡社.
- ・ 三浦まり, 2013, 「政権交代とカルテル政党化現象 民主党政権下における子ども・子育て支援政策」『レヴアイアサン』 53:35-56.
- ・ 宮内泰介編, 2013, 『なぜ環境保全はうまくいかないのか 現場から考える「順応的ガバナンス」の可能性』 新泉社.
- ・ 宮内泰介/藤林泰, 2013, 『かつお節と日本人』 岩波新書.
- ・ 陸奥宗光, 1933, 『蹇蹇録』 岩波文庫.
- ・ 村上靖彦, 2013, 「看護における『見える』『シグナル』『わかんない』『世界思想』 40:10-13.
- ・ 安井大輔/Milos DEBNER/太郎丸博, 2013, 「グローバル・シティと賃金の不平等 産業・職業・地域」『社会学評論』 64(2):152-168.
- ・ 山下祐介, 2012, 『限界集落の真実 過疎の村は消えるか?』 ちくま新書.
- ・ 吉岡宏高, 2012, 『明るい炭鉱』 創元社.
- ・ 米村衛, 2004, 『シリーズ「遺跡を学ぶ」 1 北辺の海の民 モヨロ貝塚』 新泉社.
- ・ 読売新聞北海道支社, 2011, 「学力危機 第1部 札幌の格差」.
- ・ 読売新聞北海道支社, 2012a, 「学力危機 第2部 札幌の“常識”」.
- ・ 読売新聞北海道支社, 2012b, 「学力危機 第3部 教師のチカラ」.
- ・ 読売新聞北海道支社, 2012c, 「学力危機 第2部 低迷の深層」.
- ・ 琉球新報社・地位協定取材班, 2004, 『検証 [地位協定] 日米不平等の源流』 高文研.
- ・ 和田春樹, 2012, 『北朝鮮現代史』 岩波新書.
- ・ 渡辺茂, 1973, 『伊達小史』 伊達市.

- ・ ATTAC(par Susan George), 2001, *L'Association ATTAC: Remettre l'OMC à sa Place*, Paris: Mille et une nuits, department de la Librairie Arthème Fayard. (=杉村昌昭訳, 2002,

- 『WTO 徹底批判！』作品社).
- Bauman, Z., 2000, *Liquid Modernity*, London: Polity Press. (=森田典正訳, 2001, 『リキッド・モダニティ 液状化する社会』大月書店).
 - Becker, H.S., 1998, *Tricks of the Trade: How to Think about Your Research while You're Doing It*, Chicago: Chicago University Press. (=進藤雄三／宝月誠訳, 『社会学の技法』恒星社厚生閣).
 - Boris, J.P., 2005, *Commerce Inéquitable: Le Roman Noir des Matières Premières*, Paris: Hachette Littératures. (=林昌宏訳, 2005, 『コーヒー、カカオ、コメ、綿花、コショウの暗黒物語 生産者を死に追いやるグローバル経済』作品社).
 - Braudel, F., 1949=1966, *La Méditerranée: et le Monde Méditerranéen à l'Époque de Philippe II*, Armand Colin, Deuxième édition revue et corrigée. (=浜名優美訳, 1992, 『地中海Ⅱ 集団の運命と全体の動き 1』藤原書店).
 - Chavagneux, C. & Palan, R., 2006, *Les Paradis Fiscaux*, Paris: La Découverte. (=杉村昌昭訳, 2007, 『タックス・ヘイブン グローバル経済を動かす闇のシステム』作品社).
 - Cohen, D., 2006, *Trois Leçons sur la Société Post-Industrielle*, Paris: Seuil. (=林昌宏訳, 2009, 『迷走する資本主義 ポスト産業社会についての3つのレッスン』新泉社).
 - Davis, A.Y., 2003, *Are Prisons Obsolete?*, New York: Seven Stories Press. (=上杉忍訳, 2008, 『監獄ビジネス グローバリズムと産獄複合体』岩波書店).
 - Fitting, E., 2010, *The Struggle for Maize: Campesinos, Workers, and Transgenic Corn in the Mexican Countryside*, Duke University Press. (=里見実訳, 2012, 『壊国の契約 NAFTA 下メキシコの苦悩と抵抗』農文協).
 - Folliet, L., 2009, *Nauru, L'île Dévastée: Comment la Civilisation Capitaliste a Détruit le Plus Riche du Monde*, Paris: La Découverte. (=林昌宏訳, 2011, 『ユートピアの崩壊ナウル共和国 世界一裕福な島国が最貧国に転落するまで』新泉社).
 - Foucault M., 1975, *Surveiller et Punir: Naissance de la Prison*, Paris: Gallimard. (=田村淑訳, 1977, 『監獄の誕生 監視と処罰』新潮社).
 - Friedmann, H., 1993, The Political Economy of Food, *New Left Review* 197:29-57. (=渡辺雅男／記田路子訳, 2006, 「食料の政治経済学 グローバルな危機」, 渡辺雅男／記田路子訳, 『フード・レジーム 食料の政治経済学』こぶし書房, pp.13-61).
 - Friedmann, H., 2003, Eating in the Gardens of Gaia: Envisioning Polycultural Communities, Adams J. ed., *Fighting for the Farm: Rural America Transformed*, University of Pennsylvania Press, pp.252-273. (=渡辺雅男／記田路子訳, 2006, 「ガイアの庭で食べること ポリカルチュラルなコミュニティの構想」, 渡辺雅男／記田路子訳, 『フード・レジーム 食料の政治経済学』こぶし書房, pp.124-166).
 - Friedmann, H., 2005a, From Colonialism to Green Capitalism: Social Movements and the Emergence of Food Regimes, Buttel, F.H. and McMichael, P.D. eds., *New Directions in the Sociology of Global Development*, Amsterdam: Elsevier, pp.227-264. (=渡辺雅男／記田路

- 子訳, 2006, 「植民地主義からグリーン・キャピタリズムへ 社会運動とフード・レジームの形成」, 渡辺雅男／記田路子訳, 『フード・レジーム 食料の政治経済学』こぶし書房, pp.62-123).
- Friedmann, H., 2005b, Biodiversity and Cultural Diversity in North American Foods, original article for World Food Day, *distributed by "foodnews" listserve*. (=渡辺雅男／記田路子訳, 2006, 「北アメリカの食における生物多様性と文化的多様性」, 渡辺雅男／記田路子訳, 『フード・レジーム 食料の政治経済学』こぶし書房, pp.167-178).
 - Friedman, M., 1962=2002, *Capitalism and Freedom*, Chicago: The University of Chicago Press. (=村井明子訳, 2008, 『資本主義と自由』日経 BP クラシックス).
 - Gabel, J., 1962=1968, *La Fausse Conscience: Essai sur la Réification*, Troisième édition. (=木村洋二訳, 1980, 『虚偽意識 物象化と分裂病の社会学』人文書院).
 - Harbermas, J., 1981, *Theories des Kommunikativen Handfeln*, Frankfurt am Main, Shurkamp Verlag. (=河上倫逸／フーブリヒト, M, 平井俊彦訳, 1985, 『コミュニケーション的行為の理論 (上)』未来社, 藤沢賢一郎／岩倉正博／徳永恂／平野嘉彦／山口節郎訳, 1986, 『コミュニケーション的行為の理論 (中)』未来社, 丸山高司／丸山徳次／厚東洋輔／森田数実／馬場孚瑳江／脇圭平, 1987, 『コミュニケーション的行為の理論 (下)』未来社).
 - Harvey, D., 2003, *The New Imperialism*, Oxford: Oxford University Press. (=本橋哲也訳, 2005, 『ニュー・インペリアルイズム』青木書店).
 - Hayek, F.A., 1944, *The Road to Serfdom*, London: Routledge. (=西山千明訳, 1992, 『隷属への道』春秋社).
 - Horishna, O.V., 2006, *Chornobyl's Long Shadow: Health Consequences of the Chornobyl's Nuclear Disaster: A Summary of Findings Update 2006*, Children of Chornobyl Relief and Development Fund. (=西谷内博美／吉川成美訳, 2013, 『チェルノブイリの長い影 現場のデータが語るチェルノブイリ原発事故の健康影響』新泉社).
 - International Physicians for the Prevention of Nuclear War Deutschland, 2011, *Gesundheitliche Folgen von Tschernobyl 25 Jahre nach der Reaktorkatastrophe*, Berlin; IPPNW Deutschland. (=松崎道幸監訳, 2012, 『チェルノブイリ原発事故がもたらしたこれだけの人体被害 科学的データは何を示している』合同出版).
 - Noualhat, L., 2009, *Déchets: Le Cauchemar du Nucléaire*, Paris: Seuil. (=及川美枝訳, 2012, 『放射性廃棄物 原子力の悪夢』緑風出版).
 - Rousseau, J.J., 1755, *Discours sur L'Origine de L'Inégalité Parmi les Hommes*. (=本田喜代治／平岡昇訳, 1933=1972, 『人間不平等起源論 (改訳版)』岩波書店).
 - Schlosser, E., 2003, *Reefer Madness: Sex, Drugs, and Cheap Labor in the American Black Market*, New York: Houghton Mifflin Company. (=宇丹貴代実訳, 2004, 『巨大化するアメリカの地下経済』草思社).
 - Short, P., 2004, *POL POT: Anatomy of a Nightmare*, New York: Henry Holt and Company. (=山形浩生訳, 2008, 『ポル・ポト ある悪夢の歴史』白水社).

- ・ Todd, E., 2008, *Après la Démocratie*, Paris: Gallimard. (=石崎晴己訳, 2009, 『デモクラシー以後 協調的「保護主義」の提唱』藤原書店).

社会学ゼミであつかった文献一覧<2013 年度>

- ・ 松本三和夫, 2012, 『構造災 科学技術社会に潜む危機』岩波新書.
- ・ 山岸俊男, 1999, 『安心社会から信頼社会へ 日本型システムの行方』中公新書.
- ・ 読売新聞北海道支社編, 2013, 『学力危機北海道 教育で地域を守れ』中西出版.

社会学演習であつかった文献一覧<2013 年度>

- ・ 碓井崧／松宮朝編, 2013, 『食と農のコミュニティ論 地域活性化の戦略』創元社.
- ・ 佐藤香, 2011, 「学校から職業への移行とライフチャンス」, 佐藤嘉倫／尾嶋史章編, 『現代の社会階層 1 格差と多様性』東京大学出版会, pp.65-79.
- ・ 田中祐二／小池洋一編, 2010, 『地域経済はよみがえるか ラテン・アメリカの産業クラスターに学ぶ』新評論.
- ・ 中澤渉, 2011, 「分断化される若年労働市場」, 佐藤嘉倫／尾嶋史章編, 『現代の社会階層 1 格差と多様性』東京大学出版会, pp.51-64.
- ・ 船橋晴俊／長谷川公一／飯島伸子, 2012, 『核燃料サイクル施設の社会学 青森県六ヶ所村』有斐閣.
- ・ 刈谷剛彦／本田由紀編, 2010, 『大卒就職の社会学 データからみる変化』東京大学出版会.
- ・ 松本三和夫, 2012, 「テクノサイエンス・リスクと知的公共財」, 盛山和夫／上野千鶴子／武川正吾編, 『公共社会学 1 リスク・市民社会・公共性』東京大学出版会, pp.193-211.
- ・ ラーラエチェア, I./ニッセン, M., 2012, 「南アメリカにおける連帯経済 チリのケース」, ラヴィル, J.L., 『連帯経済 その国際的射程』生活書院, pp.167-212.